

# 地域社会コース 現代社会論ゼミ 共同研究

(指導教員 城戸秀之)

## 「共同研究」とは

全体テーマを共通する視点として設定し、その下で各自が個人の問題意識から選んだ事象の考察を行うことで、社会学的視点から現代社会についてその特徴などを探る ※3年次に報告会、4年次に報告書作成

## さとり世代の夢 ～私達、それなりに生きてます～

(2019年度 第15回 共同研究報告会の概要)

長引く不況やソーシャルメディア化とともに変容してきた現代の若者達(さとり世代)特有の価値観や、社会との関係構築法について考察した。

### 考察

**消費** 人間関係の築き方が大きく変容したことから、大胆な消費からちょこちょこ消費へ、モノより思い出や経験のための消費へと移行した

**承認への欲求** 相手への配慮・相手を傷つけない優しさを常に重視するコミュニケーションへと変容したことが、承認不安の増大に繋がる

**恋愛** さとり世代は恋愛に淡白な傾向があり、SNSの普及が人と繋がることに煩わしさを感じさせてしまうことが要因の一つとして考えられる

**安定志向** ネガティブなイメージを持たれがちな「安定志向」は、不安定な社会に適応しようとするさとり世代のポジティブさと言える

**夢** 将来に希望は持つものの、安定を維持するために大きな決断には踏み出せないさとり世代にとって「和やかな現状を楽しみたい」という事こそが夢である

### まとめ

「さとり世代」と呼ばれる若者達は、不安定な現代社会に適応するために高い満足感は求めず、「それなりに」に生活できればいいという価値観を処世術として持ち合わせている